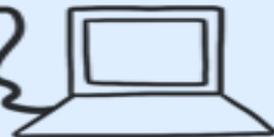




日本語学習支援者対象 ICT 活用研修



～学習者の自律的な学びをサポートするために～

「定期的に教室に通えない学習者を継続的に支援したい」「遠隔地にいる学習者とつながりを持ちたい」と考えている方は多いと思います。オンライン会議システム「Zoom」や自律的に学べるツールを利用して、学習者が持続的に学び続けられる支援の方法を一緒に考えてみませんか？

目的：Zoom の基本操作、活用方法を学ぶ

学習支援者として Zoom を使ってどのような支援が可能か考える

学習者の自律的な学習をサポートする ICT 活用法を考える

日時：Zoom 基本編

①10月16日(水) ②10月23日(水)

Zoom 活用編

③10月30日(水) ④11月6日(水) ⑤11月13日(水) ⑥11月20日(水)

※Zoomの基本操作を習得されている方が対象です(「Zoom基本操作Candoチェック」参照)。

※③～⑥は単発でのお申込みも受け付けますが、全4回参加可能な方を優先します。

時間：18:00～20:00

開催方法：Zoom ※参加者には10月11日までにURLをお知らせします。

※パソコンでのご参加を推奨します。

(タブレットやスマートフォンでは一部非対応の機能がございます)

講師：コミュニケーション学院 講師



無料

| | | |
|---|-----------|---|
| ① | 10月16日(水) | 《Zoomに参加者として入ってみよう》 Zoomに参加し、基本操作を学ぶ |
| ② | 10月23日(水) | 《Zoomの操作をマスターしよう》 基本操作の復習・その他支援に役立つ操作を学ぶ |
| ③ | 10月30日(水) | 《Zoomのできることを考えよう》 Zoomを使ってできること、やってみたいことを共有する |
| ④ | 11月6日(水) | 《Zoomを使って学習者とつながろう》 ホワイトボード機能やチャットを使いながら、学習者と話す |
| ⑤ | 11月13日(水) | 《教材を使ってZoomで活動してみよう》 「つながる ひろがる にほんごでの暮らし」を使用した、オンラインでの支援を考える |
| ⑥ | 11月20日(水) | 《学習者の自律的な学習の支援について考えよう》 学習者が継続的に学習できるように、支援者として何ができるか考える 自律的な学習に役立つオンラインツールの活用法を考える |

お申込み

対象：現在兵庫県内で地域日本語教育に携わっておられる方
Zoom を活動に活かしたいと思っている方

定員：①②各回20名 ③④⑤⑥各回60名

※申し込み多数の場合、Zoom 経験が浅い方を優先します。

申し込み方法：こちらの QR コード・URL もしくは 下記メールアドレスからお申込みください。



→<https://forms.gle/ZdRljffMDHPYk3Lb9>

この研修の内容は昨年度と重なる部分もあります。ご了承の上お申し込みください。

※メールでお申し込みの方

(1)名前 (2)メールアドレス (3)活動している教室名 (4)参加希望日

(5)Zoom の使用経験

(①Zoom の使用経験がない ②研修受講等参加者として使用 ③日本語教室などでホストとして使用)

(6) 今後主催者（ホスト）として、Zoom を開く可能性がありますか？(①はい②いいえ③わからない)

(7)昨年度の ICT 活用研修に参加しましたか。

(8)研修に参加するときに使用する機器 (①パソコン ②タブレット ③スマートフォン)

(9)ふだんどのような形で日本語学習の支援を行っていますか。

例) 1対1で教科書を使って支援している/テーマを決めて自由に会話している/学習者が教材を持ってきて、わからないところを教える など)

(10)学習支援に使用している教科書があれば名前を書いてください。

(11)今回の研修で知りたいこと、講師に聞きたいことがあれば書いてください。

申し込み締切：10月9日(水)

お問い合わせ：uchida@communicate-institute.org

TEL:078-333-7720 (コミュニカ学院・内田)

この研修は、コミュニカ学院が（公財）兵庫県国際交流協会より委託を受けて実施するものです。

公益財団法人兵庫県国際交流協会
Hyogo International Association **HIA**

コミュニカ学院

〒650-0031 神戸市中央区東町116-2

TEL 078-333-7720 FAX 078-333-8570



文部科学省 令和6年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業



令和6年度兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

Zoom 基本操作 Cando チェック

Zoom 基本編① 10月16日（水）

以下の内容を第1回の研修で扱います。

| | Cando | チェック |
|---|--|------|
| 1 | Zoomの招待URLからZoomに入室する | |
| 2 | ミュートボタンを使って、自分の音声を相手に届かせるかどうか切り替えることができる | |
| 3 | ビデオボタンを使って、自分の顔を映すかどうか切り替えることができる | |
| 4 | Zoom画面に表示される自分の名前を変えることができる | |
| 5 | リアクションボタンを押して、絵文字を画面に出すことができる | |
| 6 | チャット機能を使って、メッセージを送受信することができる | |
| 7 | 画面共有ボタンを使って、画像や資料を相手に見せることができる | |
| 8 | Zoomのアカウントを作成することができる | |
| 9 | Zoomを退出する | |

Zoom 基本編② 10月23日（水）

以下の内容を第2回の研修で扱います。

※第1回の内容を習得している方が対象です。

| | Cando | チェック |
|----|----------------------------|------|
| 10 | ブレイクアウトルームに入退室することができる | |
| 11 | ブレイクアウトルーム内で画面を共有することができる | |
| 12 | ホワイトボード機能を使って、字を書くことができる | |
| 13 | Zoomでミーティングを主催する（ホストとして開く） | |
| 14 | ブレイクアウトルームを作ることができる | |
| 15 | Zoomを終了する | |

Zoom 活用編（第3回～6回）は上記の1～12をすでに習得している方が対象です。Zoom 活用編にご参加をご希望の方は、上のCandoリストでご確認ください。

Zoomの基本操作に慣れていない方は、Zoom基本編にもご参加ください。

